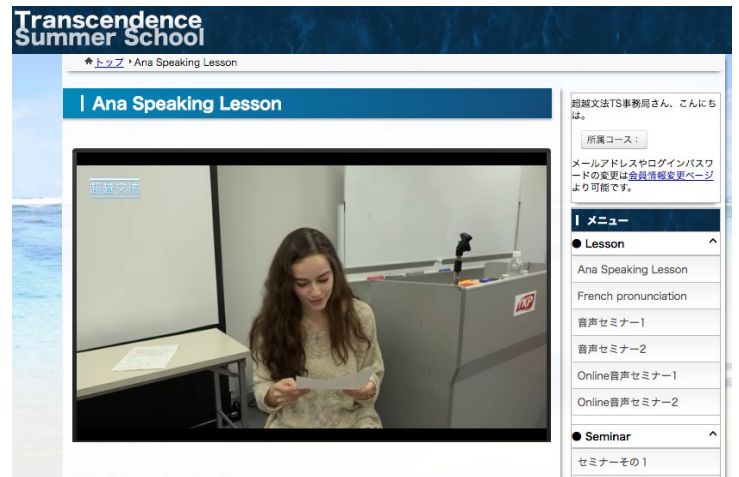


超越文法

Transcendence Summer School

脳に超高速処理言語回路を構築し、3ヶ月でゼロから英語力を飛躍させてみませんか？
英語に10年以上苦しめられた人が、最速で言語の壁を”超越”するスクールを用意しました

- 外国人とすら会話ができるようになりたい
 - 本を読むスピードを上げたい
 - ビジネスで成功したい
 - 人とのコミュニケーションを円滑にしたい
 - 記憶力を上げたい
 - もっと色んな事を勉強したい
 - 頭の良い人に憧れる
- そんな希望をお持ちのあなたに、これから「劇薬」をお渡します。



英語がペラペラになる夢を諦めていないあなたへ:
このページをご覧くださいましてありがとうございます。

これからお伝えすることは、読むだけで、あなたの脳は大幅にバージョンアップされ、
もしかしたら今後の学習法、ライフスタイル、人生観が変わるかもしれません。

そんなきっかけになればなと思いを込めてお伝えしていきますので、
どうぞ最後まで、お付き合い頂けましたら幸いです。

英語を喋れるようになりたい！

私たちは、長い人生の中で、多くの勉強をしてきましたが、
そのうちのほとんどは大人になったら忘れてしまっていますし、興味も沸かなくなります。

しかし、そんな中で唯一、大人になっても勉強し続けたいと思うものがあります。
そう、それが「英語」なのです。

英語を喋れるようになりたい理由は、人によって様々でしょう。
中には仕事で使う、という人もいますかもしれませんが、

海外旅行に行った時に話せるようになりたいから、という方もいるでしょう。

ただし、実際に英語を習っている人の多くは、
仕事で使う事はほとんどなければ、直近で海外旅行に行く予定も無い、
というデータが出ているそうです。

つまり、「すぐには使わないけど、とりあえず英語は習っておきたい」と思うそうなのです。

では、そういった人たちがどうしてそこまでして、英語を喋れるようになりたいのか？というところ、
「何らかの形で、自分の見ている世界を変える(広げる)きっかけが欲しい！」
と思っているからなのです。

人生を良くしていきたい、もっと賢く生きたい、もっと成長したい・・・

これらは誰しもが普遍的に持っている欲求です。
しかし、どうすれば良いのか？を知りません。

何かきっかけが欲しい。
その1つとして、「英語を学ぶ」というのは、分かりやすいのです。

「英語が喋れるようになったら、なんとなく、見ている世界が変わるような気がする」
そう思って、学び始めるのです。

実際に、その通りで、英語が話せるようになると、
今まで日本人としか会話ができなかったのが、いきなり世界中の人と会話ができるようになり、
更に、海外の最新情報なんかもどんどん入ってきます。

それだけで、見ている世界は随分変化するでしょう。

ただ、どうせ英語を学ぶのであれば、
もっと劇的に、それこそ、人生が変わるような瞬間を味わって欲しい。

英語を学んで人生が変わる・・・？

そんな大げさな、と思われるかもしれませんが、
超越文法では、本当に人生が変わるような体験をして頂く事ができるのです。

脳をアップグレードする

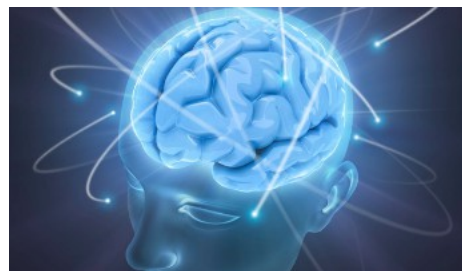
「超越文法」の最終目的は、決して外国人と喋れるようになる事でも、
海外旅行に沢山行く事でもありません。

もちろん、それはそれで目指してもらったら良いし、
普通にコミュニケーションを取れるようになるのは、
そこまで難しい事ではありません。

しかし、それは確かにモチベーションにはなるでしょうが、
ゴールではありません。

では、何の為に学んでもらっているのか？

それは、
「語学を学ぶ事を通じて脳をアップグレードさせる為」



なのです。

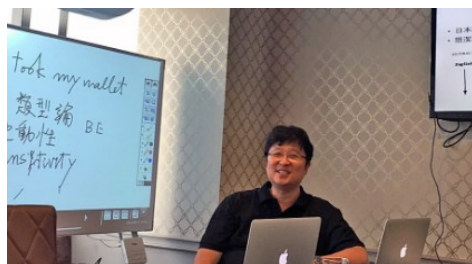
アップグレードさせるとはどういう事か？
パソコンで言えば、最新のソフトをインストールして、
パソコンの機能自体を大幅に変えてしまう、というイメージです。

つまり、語学を学んでいない時、もっと言えば日常で、
考え方、思考回路、見ている世界、行動など、全てがガラリと変わる、
そんなプログラムなのです。

英語を通して見ている世界を変える勉強

あなたにこれから体験して頂きたいのは、
「英語を通して、見ている世界がガラリと変わる瞬間」
です。

今回、超越文法で講師をして頂くのは、
カナダのラヴァル大学で教授をやっている、
15カ国語を自由に操れる国際言語学者として活躍している、
溝江達英先生です。



溝江先生は、カナダに12年住み、
大学では講義をフランス語で行い、
受け持つ授業は北米最多クラスの年間270コマ超の、
超人気講師として活躍しています。

そんな多忙な中、今回、超越文法のために、
定期的に来日して頂き、語学の講義をして頂きました。

講義をして頂いた時間は、
全て合わせると**200時間以上**です。



そんな膨大なセミナーの中でも、
特に選りすぐりのものだけをピックアップして、編集して、
ステップバイステップで学んでいけるように、配信していこう
というのが今回の企画です。

溝江先生のセミナーで話される事は、単なる英語の講義ではありません。
そもそも、世の中に存在する多くの英語教材、英会話塾とは、全く異なるアプローチを取ります。

実は、多くの英語学習は、「**環境依存**」のものとなっているのです。

例えば、幼少期に海外にいたら、環境によって、勝手に英語がペラペラになったけど、
帰って来て数年英語を使わなかったら、綺麗に忘れてしまった・・・という話はよくある話です。

あるいは、大学時代、結構英語は喋れたし、
英会話も通ってネイティブの人と毎日喋っていたのに、
しばらく英語を使っていなかったら、鈍ってしまった、という話もよく聞きます。

ほとんどの英語学習は、
文法や単語の丸暗記で、かつ、英語を常に話す環境に身を置く事で、
“慣れる”事で英語を喋れるようになる、というものです。

もちろん、それ自体が悪いと言っているわけではないのですが、それは「環境依存」的な学習で、その環境が無くなり、しばらく英語を使っていなかったら、感覚がどんどん鈍っていき、ついには忘れてしまうのです。

いくら頑張っても、時間が空いたらどんどん忘れていき、鈍ってしまう・・・
せっかくの努力が水の泡になってしまうほど悲しい事はありません。

それに対して、超越文法でお伝えする内容は、「英語の枠を超越して、全ての言語に通じる言語直感を養っていく」というのです。

もっと言えば、「日本語の精度を高めていく」という事になります。

どういう事か？と言いますと、「環境依存」の英語学習は、脳に、日本語とは別に、英語の回路を構築しようとしているのです。

日本語と英語が別々の回路になってしまっているので、一生懸命勉強しても、日本語に比べたらしょせんは小さな回路です。

脳は、よく使っている回路は残すけど、全然使っていない回路は消していく仕組みになっていて、英語回路も、全然使われていなかったら「必要無い」と判断され、消えてしまうのです。

一方で、超越文法でやろうとしているのは、日本語と英語の回路を別々に作るのではなく、「日本語の回路の中に、英語の回路を組み込んでしまう」という事なのです。

先ほどのパソコンの例で言えば、「環境依存」型の勉強は、使い方が全然違うパソコンを2台用意して、両方を一生懸命使いこなそうとするのに対して、

超越文法での学習法は、同じパソコンに、新しいソフトをインストールして、英語も対応できるパソコンに変えてしまう、という事です。

脳は「なるべく楽をしたい」と思う性質があり、日本語と英語の回路が別々にあれば、「使い慣れた日本語の回路を使った方が楽だから、英語回路は早く消去したい！」と思ってしまうのです。

しかし、英語回路を日本語回路の中に作ってしまえば、むしろ日本語の精度がどんどん上がっていき、決して消去される事はありません。

もっと言えば、パソコンのスペックそのものが上がるようなものなのです。

短期間で脳に膨大な情報がインストールされ、脳がスパークし、「今まで苦しめられてきた英語がこんなにもあっさり理解できるのか」という、不思議な感覚になるでしょう。

これまで、英語を何度聞いても全然頭に入らず、

やればやるほど落ち込んでいたのに、インストール後は、「ああ、ネイティブの人って、ここでこんな感情を入れて、こんな事を考えて喋っているんだな」という感覚になります。

単に日本語訳が分かるとか、そういった次元ではなく、「それを喋っているバックグラウンド」の部分が分かって来るようになります。

英語だけではありません。インストールされた後は、もう脳の回路が完全に別モノになっているので、パラパラと本を読むだけで、膨大な情報が入って来るようになるし、もっと言えば、日常でただ普通に生活しているだけで、多くの学びが得られます。

おそらく、「日常の中でこんなにも多くの学びがあったのか」と実感することになるでしょう。

「覚える」ではなく「忘れない」文法

超越文法で学べる文法は、覚えるための文法ではなく、「いかに忘れないか」に特化して、計算されて作られています。

例えば、数学だと、公式を丸暗記したら問題は解けるけど、その公式自体を忘れてしまったら全く解けなくなります。

しかし、その公式がそもそもどういったものなのか、その概念をきちんと掴んでいて、いつでもその公式を導けるようにしておけば、もう忘れる事はありません。

それと同じで、超越文法は、「何年経っても決して忘れない文法」であり、かつ、「英語の枠を超越した、あらゆる言語に通じる普遍的な法則」をお伝えしていきます。

ロジックが分かっているから、忘れなくなるのです。

それだけではありません。ロジックがきちんと分かっているのも、もしあなたが今後、例えば自分の子供に英語を教えなければいけない、となった時に、超越文法で学んだ事をそのまま教えたら、すぐに子供の英語の成績は伸びていくでしょう。

「英語が話せる」と「英語が教えられる」のは全く別です。英語には文法があり、例えば、現在完了系とか、仮定法とか、色んなルールが存在します。英語が喋れる人は、ルールを覚えているので、当たり前のように使う事ができますが、「そもそも何故、そんなルールになっているのか？」という部分はほとんど誰も知りません。

超越文法で目指しているのは、あらゆる言語に通じる言語直感を身に付ける事で、それができたら、例えば「これは仮定法だから・・・」とか、「この場合は現在完了系だから・・・」とか、いちいち考える必要がなくなります。

それは、数学で言えば、解法を丸暗記しているようなものです。

そういう時期があっても良いのですが、それだと、解法を忘れた瞬間に終わりです。

「覚えている時だけ使える知識」に意味はありません。

それは、パソコンに一時的にダウンロードしているだけの状態です。
つまり、そのダウンロードしたファイルが消えてしまったら、もうおしまいです。

じゃあ、どうすれば良いのか？というところ、
ダウンロードではなく、インストールしてしまえば良いのです。

いったんインストールしてしまえば、もう消える事はありません。
そして、パソコンのスペック自体が変わるのです。

そして、インストールの仕方も覚えるので、
他の人に教える事もできる、というわけです。

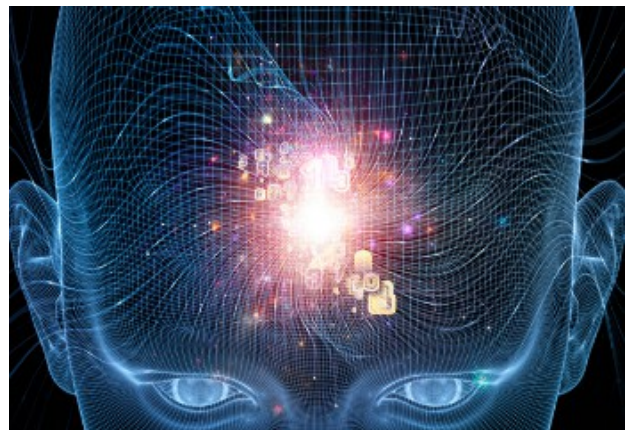
超高速ダウンロードを行う超越記憶術

さらに、超越文法では、「超越記憶術」という、
脳科学に基づいた、あらゆる情報を高速で記憶するメソッドを
お伝えしていきます。

これを使えば、例えば、
「英単語を30分で100個覚える」
という事も可能です。

実際にこれは、その場で実践して、体感してもらいます。
(早い人は、10分で100個覚える事が可能です。)

英単語を覚える、となった時に、例えば、
institute, institute, institute,・・・
と何度もノートに大量に書いて覚えてたって、
時間が経てばすぐに忘れてしまいます。



学校では、知識は教えられるけど、
その知識を覚える方法、その記憶を維持する方法が教えられる事はほとんどありません。

そもそも脳を鍛える、という授業が存在しないし、
教員免許を取る過程でもそういった事を決して習わないからです。

記憶力を高めたければ、脳の仕組みを正しく理解する必要があります。

少しかだけ解説すると、先ほど少し解説しましたが、
「脳は、なるべく楽をしたい(エネルギーを使いたくない)と思っている」
という大前提から考えると、分かってきます。

つまり、
・できるだけ楽したい
・覚える必要の無いものはなるべく忘れたい
と思っているのです。

私たちがいくら自分の脳に「頼むから覚えてくれ」と説得しようが、

そういった構造になっているのでどうしようもありません。

という事は、その前提で色んなものを覚えていかないといけないのです。

多くの人が記憶が苦手だと思っているのは、自分の脳と一生懸命戦っているからなのです。

「何で覚えられないんだ！！」
と自分の脳を責め、喧嘩して、仲が悪くなっていくのです。

脳と一生懸命戦うのではなく、いかに脳と仲良くなるか？
重要なのはそっちです。

それでは、具体的にどうすれば脳と仲良くなれるのか？というと、

「記憶に濃淡を付ける」

これが、超越記憶術の本質です。

頭の良い人というのは、情報の重要度を付けるのが上手なのです。

逆に、脳の使い方が下手な人は、
全てを同じ重要度で覚えてしまおうとしてしまいます。
だから、頭に入って来ないのです。

その時の脳の気持ちは、まるで、仕事で上司に、
「これ全部今日中にやっついてね」
と大量に書類を渡された時のようです。

そんな時って、嫌な気分になって、なるべくサボろうと考えますよね？

脳だって一緒です。
いきなり大量の、しかも意味があるかも分からない情報を渡されても、
覚えようとはしてくれません。

脳は、なるべく楽をしたいと思っているわけですから、
仕事はしたくないのです。

じゃあ、どうすれば良いのか？というと、
ある程度の負荷を脳にかけつつも、同時に、覚えなくて良い部分を明確化する
という事をします。

先ほどの会社の例で言えば、
まず、上司から次々と仕事を渡されて、
「こんな大量の仕事やってられないよ・・・」
と思わせるのです。

しかしその直後に、
「でも、実はこれらの仕事は、これさえやったら全部片付けられる」
という圧倒的に楽をする方法を提示するのです。

すると脳は、
「全部やるのはシンドいけど、これくらいで済むなら、いっちょ働かか」

と稼働して、メモリを使い始めてくれるのです。

これが、超越記憶術の基本的な考え方です。

新しい情報を見た時に、
すばやく「覚えるべき情報、覚えなくて良い情報」を分け、
さらに重要度の濃淡を付けていくのです。

しかも、なるべく覚えるべき情報は最小限に留めます。

何かを記憶する、というのは、脳内にニューロネットネットワークを作るという事です。
ニューロネットワークは、言わば、電気回路です。

何かを記憶した状態というのは、それに関連するニューロンにいつでも電気を流せる状態です。

という事は、覚える事はなるべく最小限にして、
そのニューロンから全てのニューロンに回路を繋いでおけば、
最初のニューロンにさえ電気を流せば、回路全体に電気を流す事ができる、
というロジックです。

すると、今まで全く頭に入らなかった事が、
スラスラと頭に入って来るのです。

この基本原則に基づいて、あらゆる情報を高速インストールしていく手法を解説していきます。

おそらく、聞いた事も無いような手法や、
なんとなく知っていたけど実践した事の無かった手法まで、
さまざまなメソッドを紹介して、その場で実践してもらいます。

脳の磁力を高める

超越文法は「理屈を通して、知識をどんどんくっつける語学」なのです。

言わば、脳の磁力を高めるようなものです。

磁石を砂に近づけたら、砂鉄がどんどんくっついていくのと同様、
脳の磁力を高めていけば、必要な情報が勝手に引き寄せられて、
くっついていきます。



一度そのマグネットフィールドを構築してしまえば、
次々と新しい情報が脳内にくっつき、それらの知識が掛け算されてシナジーが起こり、
ニューロネットワークが常にアップデートされていきます。

先ほどの、情報の濃淡を付けるスキルや、言語直感を高めていくと、
例えば、日本語で書かれた本を読むスピードもはやくなります。

本を読む際に重要なのは、先を予想しながら読む、という事と、
情報の濃淡を付けながら読む、という事です。

言語直感が磨かれていくと、少し読んだらするにロジックのパターンが分かるので、
先の展開がだいたい分かって来るようになります。

また、情報の濃淡を付ける癖を、超越文法を通してやっていたら、自然と本を読むスピードは上がっていきます。

まるで、情報が磁石に引き寄せられるように、どんどんくっついていくのです。

そうした類推能力が超越文法で学べるので、インプットの質が劇的に変わって来る事が実感できます。

複利で増え続ける脳内資産

超越文法を学ぶという事は、言わば、頭の中に無形の資産を構築するようなものです。

土地も、車も、家も、持っているだけで税金がかかってお金は減っていきます。しかし、脳内資産を構築すれば、それには決して税金がかかりません。

脳内資産は決して他人に奪われる事はありません。それどころか、この資産は複利で増え続けるのです。

なぜなら、一度脳内に作った磁石は、次々と新しい情報を集めて、くっつけてくれるからです。

つまり、無くならないだけでなく、**複利で増え続ける**という事です。

人生で成功する人は、無形のものに投資して、脳内資産を構築できる人です。有形の資産を作っても、無くなっていくようにできているのです。

逆に、脳内で資産を構築したら、それを換金する事も可能です。圧倒的な情報収集力、分析力、発想力が磨かれていくので、ビジネスセンスも磨かれていきます。

実際に、溝江先生のもとには、多くの経営者が集まっているのですが、1年間溝江先生から教わるだけで、ビジネスの売上げが数倍に跳ね上がったという人もいます。

それも当たり前で、超越文法は日本語の精度を高めるものなので、ビジネススキルはもちろん、プレゼンテーション力、コミュニケーション力、ファシリテーション力など、さまざまな能力が開花されます。

なので、超越文法は、投資対象としては最高レベルのものであるとお約束します。

「でも、ついて行けるか心配・・・」

もしかしたらそう思われるかもしれませんが、ご安心下さい。

超越文法で扱っている文章は、ほとんどが中学生レベルの英語です。

I'm so happy.

といったレベルの英文を扱います。なので、中学生レベルの英語がそこそこ分かる状態であれば、何ら問題ありません。

そもそも、「頭が悪い人」なんて存在しません。
生まれつきの差はもちろんありますが、頭は誰だって鍛える事ができて、
正しい訓練をほどこせば自然と賢くなっていきます。

ようは、もし「自分は頭が悪い」と思っているのであれば、
それは単に脳の正しい使い方を教わった事が無いだけなのです。

じゃあ逆に、ある程度英語ができる人は必要無いのか？という、そんな事ありません。

超越文法に参加されている方の中には、
海外に10年以上暮らして英語がペラペラの方、
予備校で英語講師をされている方、
医者で英語の医学書を沢山読んでいらっしゃる方などいます。

そういった方が「こんな楽しい英語の講義は初めてだ！」と感謝して下さいます。

どうしてなのか？という、超越文法でやっていくのは、
難しい英文を沢山読む事ではなく、むしろ、簡単な英文を、いかに深く理解できるか？
なのです。

溝江先生は、

I'm so happy.

という1文だけで、1日講義ができる、と言います。

皆が何気無く使っている英文を、どれだけ深く理解できるか？
それを超越文法では何よりも重要視しています。

言語直感を磨いていくとはそういう事です。

なので、英語が苦手、という方でも全く問題ありませんし、
むしろ何も知らない方がクリーンな状態で情報が入るので、楽しめると思います。

溝江先生からメッセージを頂きました

今回、超越文法の講師をして頂く、溝江先生より、メッセージを頂きました。

こんにちは、国際言語学者の溝江達英です。

超越文法では、【世界は言葉でできている】という原理原則のもと、
言葉なくしては語る事の出来ない文化・芸術・歴史・宗教・文学なども
横断的に効率よくかつ有機的に勉強していきます。

言語学習＝フレーズ暗記という
無味乾燥な学校英語教育にありがちなアプローチではなく、
言語能力そのものの向上にフォーカスします。

そしてさらに眠っていた内なる言語能力を呼び覚まし【超越】させ、
非言語領域の才能開花へもはたらきかけていきます。

超越文法では外国語学習はあくまで言語脳の最適化を促すきっかけに過ぎません。
英語がペラペラになりたい、ネイティブスピーカーと会話ができるようになりたいという
実用面での効能はもちろんのこと、非言語情報という名の潜在意識に織り込まれてしまった



外国語・外国人恐怖、コミュニケーションへのメンタルブロックさえも打ち砕いて参ります。

表層的なコミュニケーションの成立のみならず、そのコミュニケーションを支える深層構造にリーチすることで、建設的かつ中身のあるスムーズな言語活動を営むことができます。

こうやってしまうととにかく小難しくハードルが高いような感覚を植え付けかねないのですが、私、溝江が楽しく誰にでもわかるような言葉遣いで、本を何百冊も読んだに匹敵する言語知識・文化教養をみなさんの脳に染み渡るようにインストール致します。そして一度聞いたら忘れられない、脳にこびりつく講義をいたします。

超越文法スクールには専属のネイティブ・スピーカーのスタッフもおります。

あえてネイティブ・スピーカーの自然なスピードでの演習を挟みこむのは、超越文法は机上の空論などではなく理論が実践に効果を以って繋がられることを体感していただくためです。

アメリカから英語のネイティブ・スピーカーである Ana、そしてフランスのパリからフランス語のネイティブスピーカーである Julie を講師に迎えて本場の発音・文構造を自分の語学脳にインストールするお手伝いをさせていただきます。

言語学者がネイティブスピーカーの文創生原理を科学的に説き明かし、同時に日本人が苦手とする難所を徹底的に洗い出し修正していきます。語学学習を感覚という名で説明せずにごまかすのではなく、言語を科学的に分析し、どなたでも身につくようクリアな説明を心がけます。

ネイティブ・スピーカーとともに共同運営し、語学のみならず非言語・言語能力の両方ともに身につけさせる学習プログラムは日本のどこを探してみてもこの超越文法スクールのみで、質・量ともに唯一無二の絶対的ハイクオリティーと自負しております。

ご興味のある方はやる気だけ持ってきていただければ世界標準の最上級の知の冒険ができると確信しておりますので、ぜひ自分の脳に革命を起こしに超越文法スクールの扉を叩いてみてください。

毎日届くメール講座

さらに、超越文法では、きちんとカリキュラムを組んで、進行状況に合わせてメールを送っていきます。そちらを毎日読んでいくだけで、英語力が飛躍するようになっています。

1日1回、メルマガが届いて、だいたい10分程度で読めて、たまに音声や動画も付いているので、それは20分～1時間程度で視聴できます。

よく、「〇〇〇という英語の教材を買ったら、大量の音声やDVDが送られて来て、結局途中で挫折しました。」という声を聞きますが、超越文法では、ただコンテンツ(セミナーや音声)を配って終わり、といった無責任なやり方はとりません。

一方的にコンテンツを配るだけではなく、全員から質問や要望を適宜もらいながら、状況に応じてコンテンツを作っていく、という形の、**全員参加型のスクール**にしていきます。

さらに、メンバーサイトにて、メール講座のバックナンバーが自動的に追加されていて、クリックするとすぐにそれが開きます。

また、メールの中で、何度も参照メールを載せていくので、何度も復習ができ、定着しやすい工夫をしています。

また、メンバーサイトには、講座で配った音声や動画なども適宜アップしていったり、時々課題も出していきますので、スキマ時間で勉強したり、移動中に音声を聞いたりなど、さまざまなスタイルで学習ができるように工夫をしています。

また、ただ英語を学ぶだけでは面白くないので、例えば、英語を通して記憶術、そして脳科学や心理学の話をしたり、語学で得られる感覚が、ビジネスでどう活用されるか？といった話など、多岐にわたって解説していきます。

ですので、**巷で売られているビジネス書、自己啓発書、心理学、脳科学の本を100冊読むより、はるかにハイクオリティ&ハイボリュームの高い情報が学べる事をお約束します。**

さらに、スクールという名を付けた通り、参加して、スクールが終了するまでには見違える成長をしてもらいたいと思っています。

具体的には、**「普通の人々が大学で1年間かけて真剣に勉強して得られる以上の成長」**を目指しています(人によっては4年以上の成長になるでしょう)。

そもそも、日本の大学でまともに勉強している学生は少ない、とも言われていますが、そういうのは論外で、きちんと大学で真剣に学んで、1年かけて得られる以上の成長です。

海外の大学教授である溝江先生を講師に招いた上で、これを言っているわけですから、その責任が重い事は十分理解した上で書いています。

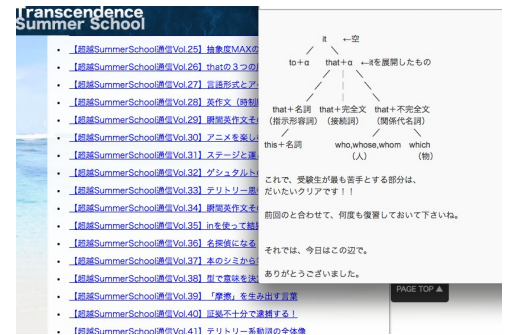
また、当たり前ですが、ただ大量に音声や動画を配って、「はい、これだけ大量の情報を渡したんだから、大学1年分くらいあるでしょ。」といった卑怯な事はしません。

そうではなく、きちんと消化できる前提でカリキュラムを組み、提供するつもりです。

しかも、丸一日使わないと消化できない、なんてものではなく、基本的には1日に10~20分(多い時でも1時間程度)なので、誤解を恐れずに言えば、片手間でも全然問題ありません。

また、「確かに、きちんと毎日やったら成長しそうだけど、面白くないから続かない」といった事にもならない工夫も凝らしています。

参加者のモチベーションが低いせいで成長できない場合も、それは教え方に責任があります。



溝江先生のセミナーは、非常に楽しくて、
何時間聞いても全然飽きません。

なので、そこもご安心下さい。

ただし、超越文法では、「実践的な英語力の向上」と「能力開発」の2つを重要視するので、
いわゆる東大や京大などの入試で出て来る「英文解釈」のような、
難解な文章を読み解いていく、といった事は行いません。

もちろん、文法や語彙力は飛躍的に上がるので、
結果的に難しい文章でもある程度対応できるように、自然となっていく筈です。
ただ、きちんとそういった能力を伸ばそうと思ったら、
それなりの難易度の文章を、時間をかけて読み解いていく訓練が必要です。
超越文法では、そこだけは射程外とさせていただきますので、ご了承下さい。

あくまで、日常会話レベルの英語をきちんと使いこなし、
それを通して様々な能力を開花させる事を目標にしています。

具体的なスクールのカリキュラム

超越文法で学ぶ内容は膨大過ぎて伝えきれないのですが、
一部だけ紹介すると、こういった事をお伝えしていく予定です。

■英語を学習するストレスを1割以下にして、継続して学習するモチベーションを高める方法

(市販で売られている参考書を買って英語を学んでいこうとする人の8割以上は、最後まで読まずに挫折すると言われていています。その理由は、参考書のコンテンツの並びにあります。超越文法は、「なるべくストレス無く学習を継続できる」をモットーにカリキュラムを組んでいます。英語を学ぶ上での最適な順序はどういったものか？をお話していきます。)

■ネイティブの英語が早口に聞こえてしまう理由と、発音を聞き取れるようになるコツ

(実は、早口に聞こえてしまうのは、決してアメリカ人の口がよく回るからではありません。実は、ネイティブの人は、日本人が習うような英語を全く喋っていないのです。習っているものと、実際に喋っているものとは別モノなわけです。逆に言えば、何が違うのか？そのルールをきちんと押さえれば、きちんと聞こえるようになって来るのです。そのコツを、ズバリ解説してもらいます。)

■溝江先生流マグネットリスニングとは？

(重要部分(核)をマグネットで引き寄せて、全てが聞取れずとも意味を理解できてしまう、常識を覆すリスニングの理論をお伝えしていきます。これができると、文法があまりよく分かっていなかったとしても、会話が成立してしまうようになります。溝江先生は、初めて聞く言語を話す外国人とすら、30分もあればコミュニケーションが取れてしまうのですが、それはこのマグネットリスニングを応用しているからなのです。)

■脳をアップグレードさせ、情報に濃淡を付けて、高速で頭に入れていく方法

(情報をインプットする際には、濃淡を付ける事で、圧倒的にそのスピードが上がります。しかし、ほとんどの人は、その原理を正しく理解しておらず、具体的にどのようにやったらいいのかを分かっていません。では、実際にどのように訓練していけばいいのか？その方法を脳にインストールさせて、英語だけでなく、あらゆるインプットのスピードが上がる劇薬をお渡します。)

■日本人が思ったことをすぐに英語に変換できない根本原因と、具体的な対策法

(日本人が英語を喋れない根本原因は、日本語と英語の文化の違いによるものなのです。簡単に言うと、日本語は、主語を省略してもOKな言語です。「お腹すいた」とかで伝わるわけですね。しかし、英語は主語や目的語を明確にしようとする言語なのです。では、その文化的な背景はどういったものがあって、その違いを克服し、即座に日本語変換できる脳の回路を作る為にはどうすればいいのか？をお話してもらいます。単語や英文をいくら暗記しても、このロジックを理解していなければ、瞬間的に思った事が英語に変換される、といった事ができません。)

■日本語の脳内回路の内部に多言語の回路を構築していくメソッド

(多くの英語学習は、脳に日本語回路とは別に英語回路を作ろうとする為に、時間がかかり、また、しばらくやっているとどんどん鈍くなっていきます。超越文法では「永久無形資産を作る」という事を掲げている通り、一度覚えたら無くならなくする為、日本語回路の中にどんどん色々な言語を組み込んでいきます。メインで扱うのは英語ですが、時に、フランス語、イタリア語、中国語、韓国語など、さまざまな言語が飛び交います。それらは全て、母国語である日本語の精度を高める為のものなのです。具体的にどのようにして、日本語回路の中に、多言語を組み込んでいくのか、その一連の流れをお楽しみ頂きます。)

■英文法を、直感的に理解して、カラダに染み込ませてしまう方法

(英語学習では、現在完了形はこうで、仮定法はこうで、みたいな細かいルールが沢山あり、それをいちいち覚えなくてはいけません。しかも、たとえ覚えたとしても、忘れたらもう使えなくなります。それに対して、超越文法では、全ての文法を直感的に捉え、たとえ文法を知らなくとも、無意識にその文法を使っている状態を目指します。例えば、aとtheの違いは何か？をいちいち頭で考えるのではなく、反射的に出て来るようにしたり、現在完了と現在形と現在進行形の違いなど、多くの人が悩むところを、明快に、概念レベルで捉えてもらい、必要なタイミングで自然と出て来るような脳の構造に変えていきますので、いちいちどのルールを使えばいいかに頭を悩ませる必要がなくなり、英語がどんどんカラダに染み込んでいきます。)

■文章の背景(バックグラウンド)を読み取っていく方法

(情報には、顕在意識で認識する情報と、潜在意識で認識する情報があります。たとえば、テレビなどのマスメディアでは、顕在意識とは別に潜在意識にメッセージを埋め込む為の様々な仕掛けがなされている事をご存知だと思います。これは決して悪い事ではなく、全ての広告はそうだし、ビジネスをやる人間、あるいはこの情報化社会で生きていく人間は、必ず知っておかなければいけない事なのです。逆に、その文章の背景、つまりバックグラウンドを瞬時に読み取る訓練をしていけば、ただ英語を1行読んだ時に、そこから莫大な情報が読み取れるようになり、腑に落ちる度合いが全く変わってきます。英語だけでなく、バックグラウンドが見えて来ると、他人から知らず知らずのうちに洗脳される事が無くなり、情報リテラシーが高くなります。頭の良い人が具体的にどのようにして世界を捉えているのか、実際に体感してもらおうと思います。)

■わずか30分(早い人は10分)で100個以上の英単語を脳に焼き付ける超越記憶術

(英単語の覚え方にはコツがあります。それは決して語呂合わせで覚える、とかではありません。もちろんそれも1つの手段として採用する事はありますが、大前提とする理論があります。この手法を使えば、1つ単語を覚えたら連鎖的に大量の単語を覚える事ができます。せっかく覚えても時間が経つと忘れるような不毛な勉強はもうやめて、記憶に関するパラダイムを変えてもらいます。)

■自転車の乗り方や泳ぎ方と同じく一度覚えたら決して忘れなくする脳内回路構築の方法

(人が何かを記憶したとは、それに関するニューロンにいつ電気を流す事ができるようになった状態を言います。そして、その記憶を保持する一番の方法は、他の様々なニューロンと回路を繋いで、複雑なニューロネットワークを作っていく事です。渋谷に行きたい時に、JRでも地下鉄でも車でも自転車でも、さまざまな手段で行けるようにしておけば、どれかがストップしても辿り着く事ができるのと同じく、ニューロンも、そこに電気が流せなくとも、他のニューロンを経由して辿り着くようにしておけば良いわけです。では、具体的にどのようにしてニューロネットワークを構築していくのかを、解説していきます。)

■便利な動詞50選と、その使い方

「重要な動詞の使い方を50個覚えたら、会話は成り立つ」と言う言語学者がいるくらい動詞の攻略は重要です。haveやgetなど、誰もが知ってる単語は、実は非常に汎用性が高く、重要な動詞を50個くらい知っていれば、日常会話はそれなりに成り立つそうです。今回は、溝江先生が選別した50個の動詞と、その使い方、応用法まで、一気に教えて頂きます。もちろん、それだけじゃなく、他の動詞もお伝えしていきますが、全てを同じ重要度で覚えるのではなく、最初に最重要50個を完璧にして、その後で付随するものを増やしていった方が効率が良いのです。

■人をコントロールする為に頻繁に用いられる「ゲシュタルトの穴」理論と、記憶術への応用

(これは悪用すると非常に危険な方法なのですが、上手に使うと、自分のモチベーションを高める事に役立つばかりでなく、記憶術への応用も可能となります。具体的にビジネスへの応用も含めて解説していきます。)

■英語とフランス語を同時に学習する方法

実は、英語とフランス語を同時に学習すると、相乗効果があると言われています。超越文法では、フランス語の基礎的な知識もお話していきますが、様々な国の言語を学ぶ事で、英語や日本語をより俯瞰的に見て頂きます。フランス語だけでなく、さまざまな言語を混ぜていきますので、言わば、「言語学の全体像」が見えて来る筈です。

■多義語を概念レベルで理解する「コアミーニング」とは？

1つの英単語には沢山の意味があり、どこでどう使って良いのか、細かい文法を覚えなさいといけなさいと思われているかもしれませんが、それが英語を苦手にしてしまっている原因なのです。コアミーニングという考え方を理解すれば、細かい意味や文法を覚えなくても、自然な形で英語が喋れるようになります。言わば、魚を1匹1匹釣り竿で釣るのではなく、大きな網で一気に捕まえてしまうようなものです。また、これはビジネスで企画を作る際に非常に重要になってくる思考法でもあります。具体的にどのように考え、どう他に応用できるのか？も含めて解説していきます。

■語学の正しい「教え方」とは？

超越文法のメリットは「再現性の高さ」にあります。概念をそのままインストールしてもらい、しかもそれらは転移可能な状態でお渡しするので、例えば今後、英語を教えるビジネスをやりたいという方、あるいは将来子供に英語を教えたいという場合にも、超越文法のメソッドは生きてきます。

■試験を目的とするのではなく、地頭を良くする思考回路の作り方

超越文法で目的としているのは、TOEIC や英検で高得点を取る事ではありません。もちろん、そういった効果も付随して来るとは思いますが、あくまで目的としているのは地頭を良くして、人生をより良くする事です。逆に言えば、単に試験で良い点数を取る為の間違った勉強法をする事は、頭を固くして、英語以外の勉強で柔軟性を失わせてしまう可能性すらあるのです。では、「頭を良くする」とは一体どういう事なのか？その本質に迫っていきます。

■言葉と性格、人格がどう関係してくるか？

犬や鳥は生まれてから鳴き声は一生変わりませんが、人間だけは使う言語を変える事ができます。そして、使う言語によって、人の性格は変わると言われています。日本語を使う日本人は、「Noと言えない性格」であり、英語を話すアメリカ人は、「言いたい事をズバっと言う性格」となります。だから、日本人が英語を覚えても「日本語っぽい英語」になってしまうのです。英語を本当に話せるようになりたかったら、アメリカ人がどういった思考回路(性格)なのかを知り、その思考回路を脳にうつしていく必要があります。そういった、言語と性格の関係性について、お伝えしていきます。

■多言語を通して人間性を広げる事は可能なのか？

言語と性格は関係していて、英語を話している時はアメリカ人っぽい性格に、フランス語を話している時はフランス人っぽい性格になります。人間が人格を完成させるには、様々な性格を自分の中に取り入れて、それらを統合させていく事が必要だと、心理学者のユングは言います。しかし、単にそれぞれの言語を別々に学んでも、異なる性格が自分の中に存在して、分離を起こしてしまうだけです。超越文法では、日本語をベースに様々な言語の感覚を養いつつ、しかし最終的には統合され、「日本語っぽさ」を消した英語回路をも作れる状態を目指します。これはつまり、日本語の柔軟性が求められる事になります。多言語を通して、単に頭を良くするというだけでなく、様々な国の文化や価値観を取り入れ、より多様な価値観を持って、人生の自由度を高めていく為の流れをお伝えしていきます。

■潜在意識の劣等感を取り除いてセルフイメージの高める方法

「英語をずっと勉強してるのに、いざ外国人が目の前にいると全然喋れない」というのは、極端な話をすれば「対人恐怖症」なのです。よくも悪くも「たかが英語」であって、そこにメンタルブロックが存在するから、「怖い」と思うのです。では、具体的にどのようにすれば、自分の中にあるメンタルブロックを取り除いて、セルフイメージを高める事ができるのか？コーチングやコンサルティングのメソッドをもとに、解説していきます。人に何かを教える、あるいは相談に乗る立場にある仕事をされているなら、必ず役に立つ筈です。

■情報リテラシーを高める為には何をすれば良いのか？

多言語を学んでいく事で、見ている世界はより広がっていき、更に、今までリーチできなかった情報にアクセスする事ができるようになります。しかし、ここで重要になってくるのは、情報を得た時に、それをどう処理するか？です。例えば、よくテレビ等で芸能人のニュースが過激に取り上げられている時は、たいてい、その裏で表に出ると都合が悪い法案が通されたりしているのをご存知でしょうか？報道されている情報だけを見て、その裏にあるものを見ようとしない人は、いつまで経っても情報弱者から抜け出せません。情報リテラシーを高めて、ホンモノの情報を自分で手に入れる事

ができるようになる為に、何をすれば良いのか？そういった話をお伝えしていきます。

■脳の基礎代謝を高めて、情報吸収力を高める方法

基礎代謝が上がってる人が吸収力が高いのは、カラダだけではなく、脳も同じです。インプットした情報が頭に入らないのは、基礎代謝が低いからなのです。かと言って、消化されずに食べ過ぎてしまうと太ってしまうと同様、情報も、ただ脳に詰め込めば良いというものではなく、きちんと「脳で消化する」事が必要です。脳の基礎代謝をどのように上げて、どうすれば新しい情報を次々と吸収して、知識太りしなくなるのか？を解説します。

■言葉の脳にどのような影響を与えるのか？

「催眠術」は言葉によって相手の脳内世界(抽象空間)をコントロールする技術ですが、脳の構造を理解すると、言葉がパワーを持つようになります。更に、言葉が極まって来ると、「非言語情報」が相手の脳内世界を書き換えるようになります。言葉をどのように使えばそういった事ができるのか？を解説していきます。

■神話を言語学的視点で分析するとどうなるか？

その国の神話に出て来る神様というのは、その国の国民性を表す場合が多いのです。例えば、ヨーロッパではギリシャ神話には遊んで暮らしている神様ばかり出てきますが、日本の古事記の神様は全員働いています。つまり、日本人はもともと働く事を悪とはしていなかったのですが、欧米の考え方が入って来る事で、働く事は奴隷のする事で、そこから脱すべき、といった考え方が生まれてしまいました。旧約聖書でも、罪を背負った者が働く、とされています。こんな風に、その国の神話を紐解いていく事で、その国の国民性、価値観が見えてきます。では、それを言語学的に捉えるとどうなるのか？という部分を解説してもらいます。

■一切お金をかけず、外国人に自分の英文を添削してもらおう方法

今の時代、外国人と仲良くなるのにお金はかかりません。超越文法の参加者は、この方法を使って、外国人の友人、あるいは恋人を作ったという方もいます。自分が書いた文章を外国人に添削してもらって、英語やその他の言語の精度を高めていく方法をお教えします。

■「美しい言葉」とは何なのか？

シェークスピアの言葉に”Beauty is in the eye of the beholder. (美しい汚いの判断は目による)”があります。「美しい言葉」というものは定義が曖昧で、人によっては美しいと感じるけど、違う人にはそうでないと思うものもあります。では、この「美しい」とは一体何なのか？どうして、文章を読んで、あるいは音楽を聞いて、人は感動し、涙を流すのか？言語の美学を解説してもらいます。

などなど、他にも様々な事をお伝えしていく予定です。

受講者の声

実際に超越文法に参加された受講者の方の声をいくつか紹介します。

関東在住女性 Kさん

溝江先生のスクールはかなり衝撃的でした。英語のスクールだと思って参加したつもりだったのですが、英語以外の言語の話もあり、言語以外の話もありで、それらが怒涛のように流れ込んできて、脳が異次元空間に飛ばされる感覚になったのです。

そして受講後まず思ったことは、「このやり方だったら、日本にいながらにして最短ルートで英語が喋れるようになるな」でした。

前々から溝江先生のことは噂でお聞きしていたのですが、



実際に超越文法のスクールを受講して、
これまで学んできた英語学習とは一線を画していると思いました。

私は5年間アメリカ留学していた経験があり、
学生の頃から英語学習には時間とエネルギーを随分かけて、
いろいろな勉強法を試してきましたが、溝江先生は、
無駄を省いて必要なところだけを凝縮させた方法を教えてくださっています。

スクールでは先生が厳選された英文を渡されその練習法や、
瞬間的に英文を作る練習法など、様々な学習法を教えてくださいます。
その説明の中で、脳がどんどん活性化され、言語感覚が上がってくるので、
その状態で、先生が教えてくださった練習法を素直にちゃんと体に染み込むまで練習したら、
英語初心者の方でもだいぶ英語が話せるようになるのではないかなと思いました。

個人的には、留学前に溝江先生と出会っていたかったなと強く思います。
私はアメリカでかなり英語に苦勞したので、溝江先生と出会えていたら、
アメリカ生活も随分違うものになったのではないかと思います。

溝江先生のセミナーはとっても楽しいですし、脳が刺激を受けて喜んでいきますし、
また今後も楽しみにしています。

関西在住 Sさん

私はあまり根気がなくて継続するのが苦手なのですが、
溝江先生の講義はとても面白いので、

「あ、もうこんなに時間たってる。。。」

というほど集中力が途切れないので続くのでビックリです。

また、今まで外人と話す時に、
意思疎通が全く聞き取れなかったのですが、

それが以前よりも意思疎通が取れるようになって、
それによってさらにモチベーションがUPしました。

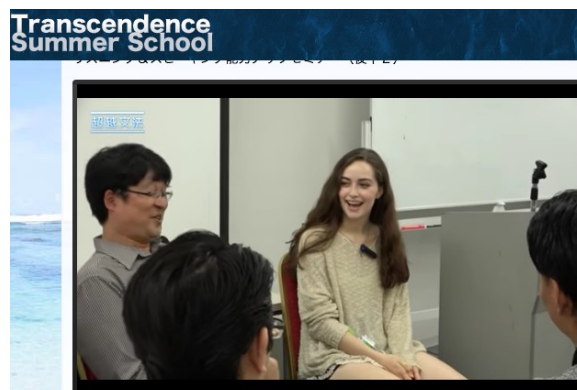
課題の音声も、最初は全然聞き取れなかったのですが、
セミナーを見た後にフォローアップメールの課題を一所懸命こなしていたら、
全く聞き取れなかった英語がスラスラ聞き取れるようになっていて、
全く外人とコミュニケーション取れないレベルから、
意思疎通がレベルになりました！

たった二ヶ月でこのような状態になれたので、
本当にびっくりしました。

私にとってこの経験は「超越」です。

これからも頑張っていきたいと思います。

ありがとうございました！



関東在住 Oさん

最初は気軽な気持ちで、
この教材を購入したのですが、

実際に溝江先生の講義を見て、
色々なものが「言語」を通して繋がっていることがわかり、
それがとても感動的でした。

普通の英語の勉強とは違って、
深いところまで学ぶことができたり、

コツコツ継続していけば、
「英語をできる！」
という感覚を初めて得ることができました。

本当に超越文法に入って良かったと思いました。

ありがとうございました。



価格について

この講座は、大学で1年かけて真剣に勉強する人と同じくらいの成長を、
片手間で可能にしようという、大学の先生が聞いたら怒りそうな事を、
大学の先生を招いて実現させようとしている講座です。

もし本当にそれが可能だとしたら、その価値ははかり知れないでしょう。

例えば、大学に通った場合、4年間でだいたい200万円以上の学費がかかります。
つまり、1年分としても、50万円はかかるという事になります。

それくらいの価値は十分あると自負していますが、
別に高額を取るためにやっているわけではないし、オンライン講座である事も加味して、
今回は破格の値段にさせていただきます。

今回の超越文法のスクールは、**3ヶ月で48000円**となります。

3ヶ月というのはあくまで目安で、実際は期間終了後も、継続的にコンテンツを送る予定ですし、
配信したコンテンツは会員サイトで閲覧できて、期間終了後もいつでも見れるようになります。

超越文法では、これまで、高額(数百万)のスクールも運営してきました。
当時参加された方は、経営者の方ばかりです。

そのくらい、本来ハイロイヤリティな講座で、
ずっと少人数制でやっていたのです。

しかし、参加している人たちの劇的な変化を目の当たりにして来るにつれ、
「これほど素晴らしいものを、一部の人間だけで独占しておくのはあまりに勿体無い」
と思うようになりました。

ただの語学学習ではなく、本当に脳がバージョンアップされ、
見ている世界が変わり、参加するだけで人生は必ず激変すると確信を持っています。

だからこそ、超越文法を学ぶ事を通して、
1人でも人生を変えたいという方のお手伝いができたら・・・

そういった思いで、今回、もともと高額でやっていたものを、質を一切落とさずに破格の値段で提供しようとしているのです。

だからと言って、「こんなに安いんだから、これくらいで十分だろう」といった妥協は一切しません。

本当に、人生をかけて、大事な時間とお金を捧げてもらった、という覚悟を持ってスクールを運営しています。

なので、これで人生を変える、という気持ちで、参加して頂けたらと思います。

分割決済も用意しました

「どうしても一括で払うのは資金的に厳しい！」という場合、今回、分割決済も用意しています。

分割決済は5分割で、1万円×5回となります。
また、クレジットのみとさせていただきます。

最初の3ヶ月で、基本的なセミナーは全て見てもらって、その後、定期的に補足コンテンツを受け取ってもらいながら知識を補強していってまいります。
(一括の場合と、送られるコンテンツ自体は変わりません。)

こちらも、必要な場合はご活用下さい。

「やる気」だけを持ってご参加下さい

先ほど、「モチベーションが続かないのは講師の責任」と書きましたが、だからと言って「まったくやる気無いです」という方に来て頂いても、おそらく満足のいくものは提供できません。

超越文法は、人生を変えたい、ビジネスで成功したい、世の中のお役に立ちたい、という方の為に作ったものです。

誰にでも参加してもらいたいとは思っていません。

溝江先生も、今やさまざまなビジネスを行っていて、わざわざ講座をやらなくても良いくらいの収入は得ています。

だから、「なるべく付き合う人を選びたい」と思っています。

しかし、それでも、人生をかけて参加して下さる方に対しては、そのご縁は大事にしようと思っています。

どんな人だろうと関係ありません。
語学は、世界中の人が、共通として必要としているものです。

あなたにとって一生の知的財産となるものを提供させていただきます事をお約束します。

英語が喋れるようになった世界

これまで、学校で英語の授業がつまらなかった、
成績が全然伸びずに苦しんできた、何度も挑戦して挫折した・・・

そんな経験をもしお持ちなら、超越文法に参加して頂ければ、
今までの英語のイメージがガラリと変わるでしょう。

今までとは全く違う、新たな語学の世界を体験して頂けます。

勉強しに来る、というよりは、楽しみに来る、という感覚でも良いと思います。
楽しいから続けられるし、自然と身に付きます。
苦しみながら一生懸命知識を入れようとしても、なかなかうまくいきません。

英語を喋るのがどんどん楽しくなって、
外国人の友だちが沢山できて、
あなたのスマホには海外の最新情報がどんどん入ってくる・・・

そんな生活を想像できますでしょうか？

しかも、自分が英語を話せるようになるだけでなく、
それを教える事もできるようになるのです。

自分の子供に教えるのも良いでしょうし、
あるいは、将来、孫ができた時に、
遊びに来た孫に英語を教えてあげて下さい。

「おじいちゃん(おばあちゃん)のところに行ったら英語を教えてもらえる」
って分かったら、孫は、大きくなって自分のところ遊びに来てくれます。

これから3ヶ月で、人生の流れが大きく変わる筈です。
新しい世界への扉を、今、開けようとしているのです。

大量の情報が頭に一気にダウンロードされるので、
もしかしたら最初は知恵熱が出るかもしれません。

しかし、確実に脳がバージョンアップされて、
気付けば、見ている世界がガラリと変わる事をお約束します。

また、超越文法に参加したメンバー同士が交流できる場も
定期的に設けたらなと考えています。
その時は、外国人の方も呼んで、仲良くなってもらいます。

そんな、新たな世界への一歩を今すぐ踏み出したいと思うのであれば、
ぜひ、以下よりご参加下さい。

[一括で申し込む場合はこちら](#)

[分割で申し込む場合はこちら\(5分割\)](#)

それでは、講座内でお会いしましょう！

最後まで読んで頂きありがとうございました。